

最初の二週間の各時間の指導案例

この指導案例は、台東区立小学校で使用する教科書（平成23年度～26年度）に基づき作成いたしました。

学級活動

活動名 「1ねんせいになったよ」（入学式当日） 指導時数 1時間

「きょうからじぶんでがんばるよ」 指導時数 9時間

- ねらい
- ・ 子供一人一人に応じて、じっくり、ゆっくりと小学校生活に適応させていく。
 - ・ 子供に安心感をもたせるように、日常のかかわりを重ねていく。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 基本的な生活習慣（トイレの使い方、持ち物の整理、後片付けなど）については、習慣付けのためにきめ細かく指導されている。帰りの仕度も自分でできるが、自分の机の上のような狭いところで片付けをすることには慣れていない。
- ・ 名前を呼ばれたら、手をあげて返事をしたり、先生や友達と朝や帰りの会の時間に、あいさつをしたりすることはできている。

接続をふまえた配慮点

- ・ 幼稚園や保育園での経験をふまえて、生活面でできていたことを細かく丁寧に適応指導していく。
- ・ 入学時の戸惑いや不安からできていたことも後戻りをすることがある。温かく声かけをし、なじみやすい合言葉を使って約束事を決めたり、声を合わせて唱和させたり、視覚的にやること分かる工夫をして、小学校生活に適応できるようにすること。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 小学校入門期に重視する3点 ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり
1	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">学級活動1 1日目</div> 「1ねんせいになったよ」 1 出会いを大切にす。 ○ 学校名、学級名の確認 ・ 担任名の確認、担任の自己紹介 ・ 呼名 一人ずつ名前を呼ばれたら、返事をする	○ 学校名、学級名、担任名を模造紙などにひらがなで大きく書いておく。 ☆ 学級のシンボルマークなどもあるとよい。 ★1 「はい」としっかり返事をするように話す ○ ランドセルのしまい方を絵に描いたものを用意しておく ☆ 緊張をやわらげるために、手遊びや歌を用意

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活への意欲付けをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校は楽しいところであること ・ 明日から先生はみんなが学校へ来るのを楽しみにしていること ・ 靴箱、ロッカーの場所を覚える ○ 保護者への話 <ul style="list-style-type: none"> ・ お祝いの言葉 ・ 配布物について ・ お願い事項 ・ 連絡帳の使い方 	<p>しておく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はじまるよ ・ じゃんけん遊び ・ おべんとうばこ ・ ぐーちょきぱーでなに作ろう <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者が安心感をもつような言葉を入れるとよい。 ○ 園での生活と異なり下校時に担任と保護者とが会わないことから連絡帳の活用等について伝えるとよい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 学級活動 2 2日目 </div>			
2 / 3	1	<p>「きょうからじぶんでがんばるよ」</p> <p>1 朝の仕度をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登校してあと朝の仕度をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ランドセルから教科書などを出し、道具箱に入れる ・ 連絡袋や提出物を箱に出し、ランドセルはロッカーにしまう ・ トイレに行く ・ 朝自習では着席して静かに待つ ○ チャイムのきまりを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ チャイムがなったら席に着く ・ チャイムは次の時間が始まる合図である <p>1 2 話の聞き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手はひざに置き、机と体の間はげんこつが入るくらいあける ・ 両足はそろえる ・ 背筋を伸ばす ・ 話し手の方を見て聞く <ul style="list-style-type: none"> ○ 絵本の読み聞かせをする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担任は早めに教室に行って児童を迎える。 ○ ランドセルの金具が人に当たらないように気を付けてロッカーにしまう。 ○ ロッカーの上の段、中の段、下の段など順番に持っていくようにして、できたかどうかを確認する。 ○ 連絡帳や提出物を出す場所、箱などを教室の前に用意しておく。 ☆ 道具箱の右側、左側の中身などの絵を描いて説明のときに活用して掲示しておく。実物を見せながら説明すると分かりやすい。 ☆ 入学当初はチャイム通りに区切ることができないので、チャイムをみんなで聞くなど、できるところから意識付けをしていくようにする ★ 1 姿勢を正しくする点については合言葉として日常的に使うようにする。紙芝居のような絵カードを作っておくと便利。 ☆ 聞く姿勢ができたところで、児童が集中できる短い絵本を読み聞かせると効果的である。静かにするとよい話が聞けるという習慣付けになる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 学級活動 3 2日目 </div>			
1	1	<p>「きょうからじぶんでがんばるよ」</p> <p>1 道具の点検をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持ち物の名前調べ ・ 名札のつけかた、はずし方の練習 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 1 道具箱の入れ方について、「どうぐ箱の入れ方」の図などを参考にして、確認する。 ○ 筆箱や鉛筆などに名前がかいてあるかを確認する。

	<p>1 2 下校の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ランドセルをロッカーから持ってきて道具箱の教科書などをしまう。 ・ 横断歩道や信号、車に気を付けて帰ること ○ あいさつをする。 ・ 明日への期待をもたせる ・ いすは机のなかにしまう ・ 「つくえのたてと横をそろえましょう。」 ・ 「さようなら。」 <p>1 3 地域班の並び方に並ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オープンスペースなどに地域班別（色別）に並ぶように説明を聞く。 ・ 教室を出て地域班（色別）に並ぶ ・ 他の班が並んでいるときも静かに待つ ○ 地域班ごとに並ぼう。 ・ 地域班ごとに整列する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名札は毎日はずして帰る学校もあるので、練習をして、習慣付けておくとよい。 ○ ランドセルの金具が人に当たらないように気を付けてふたを開けるように話す。 ○ ランドセルを持ってくるときにぶつからないように列ごとに持ってくるようにするとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 2学級以上ある場合には、合同で説明をしてもよい。 ☆ 班のなかでの並び方・・・誕生日、名前に「あ」のつく人、今日遊んだものなどで決めてもよい。 ○ 色別（地域班別）に前に集めてから教室を出るようにすると同じ地域班の友達を覚えて、玄関がこまない。 ○ 室内やオープンスペースに並ぶときには前もって靴をもってくるようにすると玄関で再び並びなおす必要がなくてよい。 ○ 玄関で地域班ごとに並ぶ場合には、地域班ごとの旗などを置く。 ○ 壁面に画用紙を掲示するなど並ぶところが分かるようにする
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>学級活動 4 3日目</p> </div>		
<p>2 / 3</p>	<p>1 「きょうからじぶんでがんばるよ」</p> <p>1 挙手の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい姿勢や挙手の仕方、発表の仕方を知る。 ・ いろいろな姿勢があることを知り、実際にやってみる。 ・ 起立の姿勢 ・ 着席・文字を書くときの姿勢 ・ 鉛筆の持ち方 ・ 手の挙げ方 ・ 発表の仕方の基本を知る。 <p>1 2 対面式の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生を迎えてくれる「対面式」があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 話を聞くときには、話している人の方を向くように指導する。 ○ 起立の姿勢などは、「ただしいしせい」を教室に掲示しておく。いつでも確認ができるようにする。「背筋を伸ばす」などポイントを示すようにするとよい。 ○ 名前を呼ばれたら、大きな声で「はい。」と返事をして、起立する。 ○ 文字を書くときの姿勢は、国語の指導と関連させる。 ★ 1 発表の仕方は「発表のやくそく」などで教室に掲示しておく。「○○です。」「○○だと思います。」など、終わりまでしっかり話すように指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 全校児童と初めて対面する機会であることを話し、元気よくあいさつができるように意欲をもたせる。

		○ 「対面式」の並び方、あいさつの仕方を知って、実際に行う。	☆ 儀式的な態度や礼儀について入学式のときを思い出し、2～6年生にこれからなかよくしてほしいという気持ちを表せるようにする。よい姿勢の児童をほめて見本とするのもよい。 ○ 並び方は、全員が見えるように並ぶこと、「対面式」が終わって、全校朝会の位置へ入りやすいように考える。
学級活動 5 3日目			
2 / 3	1	「きょうからじぶんでがんばるよ」 1 週末の帰りの仕度をする。 ○ 週末に洗濯のために持ち帰るものを説明する。 ・ 上履き、体育着など ○ 配布物のしまい方を知る。 ・ 配布物は文面を外側になるようにしてかどをそろえて自分でたたむ。 ・ 連絡袋に入れる	○ 週末に持ち帰り、週始めに持ってくるものを確認する。 ○ 時間がないときは、あらかじめ、紙折り機でふたつに折っておくとよい。枚数がたくさんある場合はばらばらになってしまうものがあるので、ステープラーでとめておく
	1	「本はともだち」 1 読み聞かせを聞く。 ○ 帰りの仕度を終えて、教師の読み聞かせを聞く。	★ 3 「入門期の生活習慣・学習習慣」の場のつくり方などを参考にして、児童が集中しやすいようにして読み聞かせを行う。 ☆ 「お勧めの絵本・物語20選」から選んでもよい。
学級活動 6 4日目			
1 / 3	1	「身体計測をうけよう」 1 身体計測の準備の仕方を知る。 ○ 計測の内容を知る。 ・ 計測の受け方を知る ・ 身長…背筋を伸ばしあごをひく ・ 体重…静かにそっと体重計に乗る ・ 座高…姿勢を伸ばして座る ○ 自分の席で立って体育着に着替える。 ・ 靴下を脱ぎ、体育袋に入れる ・ 名簿順に並ぶ ○ 廊下を移動のときは静かに歩く。	★ 3 計測の様子を図や写真などを用意しておくとう分かりやすい。 ☆ 実際に自分の席で一緒に動きをやるようにする。 ○ 自分の席で上着から脱ぎ、着替え、次に、下のズボンをはくようにする。 ☆ 体育着袋へのしまい方を絵に描いておく ○ 教室にもどったら、することを事前に話しておき、黒板に書いておくとよい。 「服に着替える⇒自由帳⇒ねんど」 など
学級活動 7 4日目			
1 / 3	1	「本はともだち」 1 読み聞かせを聞く。 ○ 帰りの支度を終えて、教師の読み聞かせを聞く。	

学級活動 8 5 日目

1
/
3

1

- 「避難訓練のしかたをしろう」
- 1 避難訓練の仕方を知る。
- 約束。
 - ・ 地震や火災時などの緊急時の避難の仕方の説明を聞く
 - ・ 放送をしっかりと聞くようにする
 - ・ 「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」を守るようにする
 - ・ 校庭にいるときは校庭の真ん中に行き座る
 - 避難の仕方。
 - ・ 防災頭巾を出し、かぶる練習をする
 - ・ ハンカチで口を押さえる
 - ・ 名簿順に静かに並ぶ
 - ・ 靴は履き替えずにそのまま外に出る
 - ・ 2列に並んですばやく避難する
 - ・ 避難場所に整列する
 - ・ 先生が2人ずつ数えたら前から座っていく
 - ・ 終了後、静かに並んで教室へ戻る
 - 防災頭巾をたたんで元の場所にしまう。

- ☆ 幼稚園・保育園・こども園での避難訓練を思い出させる。「お・か・し・も」の約束を知っている。
- 「お・か・し・も」を合言葉にして、避難のときに守るようにする。終了後の振り返りにも活用する。
- ☆ 「お・か・し・も」を図や言葉でかいておく。
- 初めてなので防災頭巾をかぶり、名簿順に並ぶまでには、事前に時間をとって練習をする。
- おしゃべりをしないことを徹底する。
- 校庭に出てから、自分の学級の並びがわかるように教師が学級旗を掲示して先導する。

学級活動 9 5 日目

1
/
3

1

- 「本はともだち」
- 1 読み聞かせを聞く。
- 教師の読み聞かせを聞く。

- ★ 3 「入門期の生活習慣・学習習慣」の場のつくり方などを参考にして、児童が集中しやすいようにして読み聞かせを行う。
- ☆ 「お勧めの絵本20選」から選んでもよい。

学級活動 10 6 日目

2
/
3

2

- 「1年生を迎える会のれんしゅうをしよう」
- 「1年生を迎える会」のについて知る。
 - ・ 2～6年生が1年生を歓迎してくれる会を開いてくれることを知る
 - ・ なかよくしてほしい気持ちや、教えてほしい気持ちなどを表したい
 - ・ お礼に歌を歌いたい
 - お礼の歌を決めてみんなで歌う。

- 「1年生を迎える会」について説明をする。
- ★ 3 昨年度の写真などを示して説明してもよい。
- これから学校の一員としていろいろな活動と一緒にいることを話して、なかよくしてもらいたい気持ちを高める。
- ☆ これまで親しんできた歌や音楽の時間で歌った歌などからお礼に歌う歌を決めるようにする。
- 2学級以上の場合には、学年全体で指導を行うようにする。それぞれの担任が役割を決め

			<p>て指導する。</p> <p>★ 3 音楽の時間や生活科の「がっこうたんけん」などの時間と合わせて、歌や舞台での練習を取り入れていくようにする。</p> <p>○ 実際の会場の体育館などを使っての練習をどこかで入れておくとよい。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 学級活動 10 7 日目 </div>	
2 / 3	2	<p>「たのしいきゅうしょく」</p> <p>1 給食の仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図や絵などを使って初めての給食への不安をなくし、楽しみにできるようにする ・ 同じものばかり食べずに順番に食べるようにする ・ 身支度について ・ 手洗いについて ・ 給食時の約束について ・ 配膳のときは行儀よく、静かに待つ。用がない人は席について待つ 	<p>○ 大画面テレビなどに給食の写真を映してもよい。また、給食などの副読本を活用するなどしてもよい。おいしい給食への期待感を高めるようにする。</p> <p>○ 嫌いなものでも、一口は食べるように話す</p> <p>○ 実際に、からのおぼん、お皿、おはし、牛乳などを見せて、扱い方を話す。</p> <p>○ おぼんを実際に持つしてみる。両側のまんなかを持つように指導する</p> <p>○ 明日の献立に期待する気持ちを育てる。</p> <p>○ 白衣の着方、マスクの着用、テーブルクロス の敷き方を説明する。当番の児童は実際に白衣を着て、白衣の出し方、しまい方をやってみる。</p> <p>○ 石鹸でしっかりと手を洗うこと。</p> <p>○ 「手洗いの歌」を活用するとよい。</p> <p>○ 給食時は教室はレストランのようになるので、静かに待つことが大切であることを知らせる。</p> <p>○ 食べる時間の最初と最後の5分間は黙って食べる時間として、集中して食べるようにする。</p> <p>○ 時間内に食べられるように見通しをもつようにする。</p> <p>☆ 「レストランごっこのようにしてみましよう。」という声をかける。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 学級活動 11 8 日目 </div>	
1 / 3	1	<p>「1年生を迎える会のれんしゅうをしよう」</p> <p>1 「1年生を迎える会」の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「1年生を迎える会」の並び方を練習する。 ○ 言葉の練習や歌の練習をする。 	<p>○ 2学級以上の場合は、学年で一緒に練習を行う。オープンスペースや、「がっこうたんけん」の体育館の探検をしたあとなどの時間などを活用するとよい。実際の会場の体育館などを使っての練習をどこかで入れておくとよい。</p>
1 / 3	1	<p>「週末の帰りのしたく」</p> <p>1 週末の帰りの仕度をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 週末に洗濯のために持ち帰るものを説明する。 ・ 上履き、体育着など 	<p>○ 週末に持ち帰り、週始めに持ってくるものを確認する。</p> <p>○ 2回目の週末になり、体育や給食が始まっているので、「給食セット」や給食当番の白衣やテーブルクロスなど、持ち帰るものが増え</p>

<p>1 / 3</p>	<p>○ 配布物のしまい方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> 配布物は文面が外側になるようにしてかどをそろえて自分でたたむ 連絡袋に入れる <p>「たのしいきゅうしょく」 1 給食の準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> 机の並べ替えをする テーブルクロスをしく トイレ、手洗いをする 席について静かに待つ 給食時のマナーを確認する <p>2 配膳をする。 <ul style="list-style-type: none"> 給食当番の身支度（白衣、マスク、ぼうし） 配膳台の準備 ワゴンを取りに行く際は教員が補助をする 配膳の準備、よそい方を知る 給食台の上の配置は教員が補助して食缶を配置する 食器の並べ方を確認する 運び方は一方通行で行う <p>【関連事項】 ○ 食事中～片付け <ul style="list-style-type: none"> 牛乳の開け方、ごみの集め方 盛り付けの調整 いただきます 席に着いて落ち着いて静かに食べる バランスよく食べる おかわりの約束 食べ終わった後の約束 机の並べ替え 片付けの仕方 片付け後にやること ごちそうさまでした 給食当番から片付け、準備をする ワゴンに食缶を戻し、運ぶ 給食台を片付ける 歯磨きセットを用意して片付けのあとは歯磨きを行う </p></p></p></p>	<p>ているので確認する。</p> <p>○ 机を給食時の形に並べ替える。 ☆ 幼稚園・保育園・こども園で給食の仕度を経験している子どももいる。マナーについて、児童から聞き出すと、守ろうとする気持ちが強くなる。 ○ ワゴンを運ぶときは、必ず教師が付き添う。 ○ 先に牛乳を配り、机の中央に置くようにする。</p> <p>○ パン、ご飯、大きなおかず、小さなおかず、デザート、おぼんなど、自分の仕事を確認する。 ○ おぼんを運ぶ人がぶつからないように、教室の奥から順序よく置いていくようにする。 ○ 食べる前に、牛乳のストロー袋をとらせ、小さいゴミ箱を班ごとに回していく。 ○ 個人差に応じておかずの量を調整する。 ★1 自分で「少なくしてください」など言えるようにする。 ○ 盛り付けられたものは全部食べきるように努力するように伝える。 ○ 食べ終わっても立ち歩かない。 ○ 先に牛乳パックをたたむ。 ★3 教師がたたみ方の見本を示す。たたみ方を絵にして示しておく。 ○ 片付けた後にやることを事前に指示しておく ・歯磨き、ごみひろい、帰りの仕度など ○ 手洗い場所の使い方を指示しておく。 ○ 手洗い場所は順番に使うようにする。 ○ 歯ブラシをくわえて歩かないように指導する。</p> <div data-bbox="850 1547 1406 1935" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;">  <p>給食をもらう流れの方向も大切です</p> </div>
----------------------	--	---

1 / 3	1	学級活動 1 2 9 日目、学級活動 1 3 1 0 日目	
		<p>「給食のよういをしよう」</p> <p>1 給食の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 机の並べ替えをする ・ テーブルクロスを敷く ・ トイレ、手洗いをする ・ 席について静かに待つ ・ 給食時のマナーを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食開始から3～4日目ぐらいまでは、早めに準備に取り掛かるようにする。 ○ 学校栄養士や補助の教員に手伝ってもらいとよい。次第に担任と児童だけで準備ができるようにする。
2 / 3	2	学級活動 1 4 1 0 日目	
		<p>1 「1年生を迎える会」の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「1年生を迎える会」の並び方を練習する。 ○ 言葉の練習や歌の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2学級以上の場合には、学年全体で指導を行うようにする。それぞれの担任が役割を決めて指導する。 ★3 音楽の時間や生活科の「がっこうだいすき」などの時間と合わせて、歌や舞台での練習を取り入れていくようにする。

国語

小单元名 「自分の名前をかこう」 指導時数 2 / 3 時間

ねらい ・自分の名前を大きく、丁寧に書く。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ パス、水性ペン、絵筆、鉛筆など自由に使って遊ぶことを通して、表現したい内容に適したものを選んで使おうとするようになっていく。
- ・ 年長児になると細かい部分の表現をしようとする子どもが増える。色鉛筆、鉛筆などの線を表すことに適したものを使い、小学校につながることを意識した指導をしている。

幼児教育から小学校教育への接続をふまえた配慮点

- ・ 「自分の名前をかこう」では、机にはられている自分の名前をお手本にしながら、筆圧が弱くても書け、幼児期に慣れ親しんでいるパス、あるいは水性ペンなどを使って大きく名前を書かせるようにする
- ・ 文字指導の前に、正しい姿勢、正しい持ち方を写真や絵、図、で見せながら、丁寧に指導し、鉛筆で書くことに慣れるよう、いろいろな線の練習を取り入れる。
- ・ ひらがな50音表を掲示し、習った文字を使った言葉集めなどをしながら、ひらがなに興味をもてるようにする。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 <p>小学校入門期に重視する3点</p> <p>★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習</p>
----	----	------	---

			<ul style="list-style-type: none"> ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 国語 1 5日目 </div>	
2 / 3	1	1 自分の名前を書くことを知り、書くときに気を付けることを知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙の中いっばいに大きく、丁寧に書くこと ・縦書きと横書きを書くこと ・パスの好きな色で書くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 画用紙に「はじめてかいたなまえ かいた日 4がつ ○ にち」と入れた名前を書く用紙を用意しておく。(縦書き用と横書き用) ○ 画用紙の表と裏に注意する。 ○ 用紙は多めに用意しておく。 ☆ 慣れ親しんでいるパスを使用し、筆圧が弱くとも書くことができるようにする。 ○ パスの目立たない色(黄色、肌色など)は除く紙の中いっばいに大きく、丁寧に書く。 ★1 机に貼ってある名札の文字を見て、まねをしながら書くことができるようにする。 ○ 名前は興味をもって自分で書くことができる。 ○ 書いた名前は「はじめてかいたなまえ 4月○日」として掲示する。
	1	2 用紙に書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・だいたいの位置を手で書いてから書く ・縦書きと横書きを書く ・大きく、丁寧に書く 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい姿勢でしっかり名前がかけたか。

国語 小单元名 「えんぴつをもってかこう」 指導時数 1時間

ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・書く時のよい姿勢を知り、よい姿勢で書く。 ・鉛筆のよい持ち方を知り、いろいろな線を書く。
--

*「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 小学校入門期に重視する3点 <ul style="list-style-type: none"> ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 国語 2 7日目 </div>	
1	1	1 書く時のよい姿勢を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ただしい しせい」の掲示を見ながら自分の座り方を振り返る ・隣の友達同士でよいところを見つけていく 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真や図を見せて、よい姿勢を教える。(常時壁面に掲示しておく) ★3 分かりやすい唱えなどを教えて、書く前に言わせることもよい。その他の唱え歌など。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「机とおなかの間はげんこつがひとつはいるくらい。」 ・「せなかをぴんとのばす。」 	
1	2 鉛筆のよい持ち方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートの置き方や左手（右手）の置き方を知る ・ 「両手は肩幅くらいにして机の上におく。」 	<ul style="list-style-type: none"> ★3 写真や図を見せて、鉛筆のよい持ち方を教える（常時壁面に掲示する） ★3 最初は文字ではなく、線をなぞることで、正しい持ち方で、適度な筆圧で書く練習が容易にできるようにしていく。
1	3 いろいろな線をなぞる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 直線（たて、横、斜め、ジグザグなど）指でなぞってから鉛筆でなぞる ・ 書く前に姿勢の唱えに合わせて、よい姿勢をして鉛筆の持ち方を確認してから書く 曲線（うずまき、らせんなど）形（山の形、三角形、四角形）絵（簡単な動物の絵など）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 方向や書き順を入れた用紙を用意しておく ○ よい姿勢、よい鉛筆の持ち方で書く ○ 山の形や三角形、四角形を連続させることは、終筆のはね、画の接し方や筆順に関連付けられる。 ○ よい姿勢、よい鉛筆の持ち方で書いているかを机間指導で確認する。

国語

小单元名 「ひらがなの学習『つ』」

指導時数 1 時間

- ねらい
- ・「つ」を読み、形に気を付けて書く。
 - ・「つ」を使った言葉を集める。

*「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 小学校入門期に重視する3点 <ul style="list-style-type: none"> ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり
1	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 国語4 8日目、 国語6 10日目は「し」 </div> 1 書く時のよい姿勢をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に学習したことを思い出させる。写真や図を見て確かめ、姿勢の唱えを言いながらよい姿勢をする 2 鉛筆のよい持ち方をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に学習したことを思い出すようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まず、よい姿勢をさせてみる。掲示板を見たり唱えたりしながら、自分の姿勢を振り返る。 ★3 分かりやすい唱えなどを教えて、書く前に言わせることもよい。その他の唱え歌など。 ★1 まず、よい鉛筆の持ち方をやってみる。掲示物を見て、自分の持ち方を振り返る。 ○ 一まずに番号をつけて、「1の部屋、2の部

	<p>写真や図を見て確かめ、よい鉛筆の持ち方で持つ。左手(右手)を机の上に置く</p> <p>1 3 「つ」の書き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習ノートなどを見て、ひとますの中のどこに書けばよいか位置を知る 教師が黒板で書く手本を見せる 教師が黒板に書くのに合わせて、空書きをする 始筆、まがり、はらい、終筆の位置など、どのように書くか、イメージをはっきりもたせる 手本を指でなぞる なぞり書き用の練習文字をなぞる 始点、終点が示してある文字をなぞる 十字罫のあるますの中に、文字の位置、「まがり」「はらい」に気を付けて丁寧に書く(4文字くらい) <p>1 4 「つ」がつく言葉を考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表するときの約束を守る 手を挙げて、指されたら答える 「つ」がつく言葉の絵を色鉛筆で塗る はみ出さないように塗る 	<p>屋、3の部屋、4の部屋」と呼ぶことを教える</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;">1</td> <td style="width: 20px; height: 20px;">2</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;">3</td> <td style="width: 20px; height: 20px;">4</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> </div> <p>★3 実物投影機と大画面テレビを使って、教師の書いている様子を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 練習している様子を巡回して、個別指導を行う。 ○ 書き終わったときに「よい姿勢で待つ」「手を挙げて待つ」など、どのようにして待つかを確認しておくとうい。 <p>☆ 知っている言葉を自由に出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知っている言葉を出し合うことで、文字への関心をもたせたり、文字と言葉を関連させて覚えさせる手立てとしたり、語彙量を増やしたりしていく ○ 時間があれば運筆練習をさせる。色鉛筆でぬり絵をすることも、運筆練習になる。 <p>評価) 正しい鉛筆の持ち方で、文字を書くことができたか。</p>	1	2	3	4
1	2					
3	4					

- 文字指導は、画数の少ない文字から書きにくい文字まで順に計画的に丁寧に指導します。
- 学習方法に慣れてきたら 1 時間に学習する文字を増やしていくようにします。
- 1 時間を練習だけにしないで、学習活動に工夫をしていくことが大切になります。

国語	単元名 「みつけたよ」	指導時数 3 時間
----	-------------	-----------

- ねらい
- ・教科書の絵を見て想像したこと、感じたことを発表し合う。
 - ・教科書の絵を見て伝えたいことを選び、周りの人に分かるように話す。
 - ・友達の発表を興味をもって聞く。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 体験したことや感じたことをみんなの前で話したり、意見を出し合ったり、教員や友達の話に興味深く聞いたりすることは経験している。
- ・ 自分の思いや考えを言葉にして伝えたり、人の話を聞いたりしながら、言葉による伝え合いができるように、担任が近くに寄り添ったり、どんな言い方がいいか気付くように働きかたりしている。
- ・ 年長児では、話すことに慣れるよう、みんなの前で話す活動を増やしている。集中して聞くことができるように、担任は話の内容について、問い返して理解しているかを確認するなどしている。

接続をふまえた配慮点

- ・ 児童の話を共感的に聞くように心がけ、「そうだね。」「よく見付けたね。」のように温かい言葉で受け止めるなど、幼稚園・保育園・こども園の先生方の幼児への問いかけ方や話し方などを参考にし、児童が話をしやすい雰囲気をつくっていくようにする。
- ・ 教科書の絵を大画面テレビに映したり、自分で描いた絵を持たせたりしながら話す活動を取り入れることで、児童がイメージをもって話したり聞いたりしやすくしている。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<p>○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 <u>小学校入門期に重視する3点</u> ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">国語3 7日目</div>			
2 / 3	2	<p>1 「みつけたよ」の絵を見て、感じたことを話す。</p> <p>2 絵を見て、自分の知っていることや動物の名前や花の名前などについて知っていることを話す。</p> <p>3 教科書の文字を口を大きく開けて、大きな声で2、3回読む。</p>	<p>○ 大画面テレビなどで教科書の絵を映す。 ○ 児童が話しやすい雰囲気を作る。 ☆ 児童の話を共感的に聞くように心がけることが大切。「そうだね。」「よく見付けたね。」のように温かい言葉で受け止めてあげると話をしやすい。幼児期の体験をあわせて話す児童についても温かく受け止める。 ○ 花や動物、鳥、虫の名前だけでなく、色やどんな感じがするか、何をしようとしているのかなど、やりとりが膨らんでいくような発問を工夫したりする。 ★2 ☆体験したことや感じたことをみんなの前で話したり教員や友達の話に興味深く聞いたりすることを経験している。 ○ 教員や友達と一緒に大きな声で教科書を読み、体中で言葉を感じさせたい。</p>

			評価) 絵を見て、見つけたものや聞こえてくる会話などを発表しようとしている。
		国語 5 9 日目	
2 / 3	2	<p>1 「みつけたよ」の絵を見て、感じたことを話す。</p> <p>○ 前時の様子を思い起こして、絵の中の動物などの様子を確認する。</p> <p>○ 絵の中では、どんなことが起きているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「くまさんはなにをしようとしていますか。」 ・ 「りすさんは、どうしましたか。」 ・ 「前のページと違っているのはどこでしょう。」 ・ 「うさぎさんは何と言っているのでしょうか。」 ・ 「男の子は何と言っているのでしょうか。」 <p>○ 場面の様子や状況を理解する。</p>	<p>○ 大画面テレビなど教科書の絵を映す。</p> <p>○ 前の時間の振り返りをしてから、始めると児童が絵の内容に集中しやすい。</p> <p>☆ 児童の話を共感的に聞くように心がけることが大切。「そうだね。」「よく見付けたね。」のように温かい言葉で受け止めてあげると話をしやすい。</p> <p>○ 動作や気持ちに焦点をあてるようにすると発言が広がっていく。</p> <p>○ 前のページとの違いに着目させて、話の展開に注意をさせる。</p> <p>○ 自分の好きな動物になって話をしてみてもよい。</p> <p>★ 1 手の挙げかた、答え方などを指導する。</p> <p>評価) 自分の見つけたことをはっきりと話している。</p> <p>○ 児童の発言を黒板に板書しながら、確認する。</p>

国語

小単元名「おはなしをたのしもう」

指導時数 1 / 3 時間

- ねらい
- ・ 教員が読むお話を聞き、お話の世界を楽しむ。
 - ・ 本を読む楽しさを知り、読書への興味・関心をもつ。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 幼稚園・保育園・こども園では、日常的に読み聞かせを行っている。年長になると、絵の少ない長い読み物を、数日かけて、少しずつ区切って読んでもらっても内容を理解することができるようになる。幼児の発達段階に応じて、話を選ぶので、集中して静かに聞くことができる。
- ・ 自分でもいつでも読めるように、絵本のコーナーや保育室にも絵本を置いてある。貸し出しもしており、気に入った話は何度も繰り返し読むこともある。
- ・ 座り方はいすを担任の前に列にして並べて座ることが多いが、円形に並べることもある。

接続をふまえた配慮点

- ・ 緊張の続く入門当初、絵本を読んでもらう時間は児童が楽しみにする時間でもある。小学校でも積極的に取り入れていきたい。
- ・ 読んであげた本は、教室に置いて、児童が自分でも読めるような環境があると、読書へつながっていきやすい。
- ・ 読み聞かせのときの座り方は、児童の実態に応じて決めていくとよい。本選びは「お勧めの絵本・物語20選」を参考にするとよい。
- ・ 児童が、絵を見やすいように、近くに集めたり、児童の首の角度が高くなりすぎないように絵本を持つ高さや距離、見えない位置がないかなど配慮したりする

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<p>○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 小学校入門期に重視する3点</p> <p>★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 国語3 7日目、国語6 10日目 </div>			
1 / 3	1	<p>「おはなしをたのしもう」 1 読み聞かせを行う。 ○ 教員が選んだ本を読み聞かせする。 ○ 毎日読み聞かせをしていくと読書に興味をもたせることができる。</p> <p>○ 読み聞かせを聞く。</p>	<p>○ どのお話が好きかは、児童によって異なる。児童の様子を見ながら場合によっては途中でやめるくらいの気持ちで、反応を大事に受け止めながら柔軟に対応する。</p> <p>○ 読み聞かせをしたい本は、複数用意しておく。</p> <p>☆ 幼稚園・保育園・こども園では、日常的な活動の中に積極的に取り入れているので、小学校でも積極的に取り入れたい。</p> <p>☆ 幼稚園・保育園・こども園には、幼児の手の届くところに絵本があり、本を見る機会を多く設けている。</p> <p>☆ 読む本は、「お勧めの絵本・物語20選」を参考にするとよい。</p> <p>★ 3 児童の聞く体形は絵本の内容に応じたり、絵が見えるようにしたりするなど、柔軟に変えていくとよい。</p> <p>★ 1 児童を前に集めるときは、いすを机に入れる習慣に気をつける。</p>

算数

単元名 「なかまづくり」 指導時数 3時間

ねらい

- ・ 身の回りやものの個数に関心を持ち、数や量の概念の基礎となる経験をする。
- ・ 観点や条件を明確にしながら集合をつくる。
- ・ 集合の要素の個数について、1対1対応による比較の仕方を理解し、数を比較する。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 日常生活の中で、同じ仲間（種類、形、色、大きさなど）を集合として、とらえ、仲間分けをすることをごっこ遊びや道具の片付けなどを通して経験している。
- ・ 遊びの中で体験した具体的な姿から、ものの名前や仲間などの概念が芽生えるように、環境設定や働きかけが行われる。
- ・ ごっこ遊びやゲーム、リレーやドッジボールといった遊びをはじめ、教材の配布、係活動、給食やおやつ配膳といった生活の中で、1対1対応を経験させる場面が意図的に作られ、指導が行われている。

接続をふまえた配慮点

- ・ 集中力が続かないことを考慮し、教科書の挿絵を見て、話し合う活動とゲーム的な要素を取り入れた活動を行う。静的な活動、動的な活動を入れることにより、入門期の児童が楽しく、しっかり学習ができる。
- ・ 学習のルールについて、繰り返し確認しながら行うようにする。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 小学校入門期に重視する3点 ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり
1	3	算数1 6日目 1 どんな仲間がいるか、絵を見て話し合う。 ・ どこにどんなものがありますか ・ どこに何がいますか	○ 入学後初めての「算数」なので、楽しい雰囲気をつくり、まずはできたことを大いにほめてあげるようにする。 ○ 「算数セット」を個人で購入しない学校もある。「おはじき」などの準備や使い方の説明は、実状に即して行うようにする。 ○ 内容に入る前に、学習用具の準備の仕方や教科書の開き方などを指導する。 ★3 大型画面などを活用して教科書の絵を映す。

	<p>2 絵を見ながら、知っている歌をみんなですべて歌い、絵にあるものの名前を出していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二人組で、「クイズごっこ」をしてもよい <p>例) 「だいこんさんはなにをして遊んでいますか。」など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 1 発言の仕方など学習のルールを少しずつ伝えながら、学習を進めていく。 ★ 2 見つけた集合がどこにあるのかを説明するときに、簡単な位置や方向を表す言葉について指導していく。 ☆ 幼児期にも親しんでいる、遊び歌を歌いながら、集合の要素となる言葉を増やしていく。 ○ ここで大切なのは、数えようとする対象を明らかにすることであり、観点に合う集合を明確に捉えることである。「どれに乗りたかな」「バルーンに乗ったことがあるかな」と絵を見ながら楽しく話をふくらませ、安心感をもたせるようにする。 ★ 1 児童が問題を出すときの話し方や聞き方を指導する。
算数 2 9 日目		
1	<p>3</p> <p>1 何がどんなことをしているかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「いちごさんたちはばななさんがまわしている大縄をとんでいる。」 ・ ほかの観点について集合づくりをする ・ 「目を閉じて大縄をとんでいるいちごはいますか。」 ・ 教師が問題を出したり、児童が出したりする ・ いろいろな観点や条件でなかまづくり遊びをする <p>遊び方)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「な一かま なかま」「なーんの なかま」・・・「○○のなかま」手拍子 ・ 「み一つけた」など節を付けて掛け合いで集合の条件を言ったり、見付けたりする ・ その条件にあったものを持ち上げたり、その条件にあった人は立ったりする ・ 筆箱のなかま・・・赤い筆箱のなかま ・ 書くもののなかま ・ 鉛筆のなかま ・ 黄色いもののなかま 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 3 大型画面などに教科書の絵を映す ○ 生活科の「ともだちとなかよくなるろう」と関連させる。同じ集合になった同士で仲間意識が芽生え、友達になるきっかけとなることがある ★ 3 ゲーム的な要素をもつ集合遊びを取り入れることで、楽しんでなかまづくりを行うことができる。掛け合いのある遊びは、幼児期に経験があるため、親しみやすい。 ○ 野菜の種類や遊具の種類など、すでにまとまりをもった対象に目をつける。次に、「目を閉じているいちごさんは・・・」などと観点を変えた集合づくりをさせる。 ○ 身の回りにあるものも、観点や条件を決めることによって、様々な集合がつけられることをとらえるようにする。 ○ 色（筆箱の色、服の色）、用途（書くもの、読むもの）、材質（布、木、プラスチック）（評価）観点を広げたり、条件を絞ったりして、いろいろな集合を作れることを理解できるようにする。

生活

単元名 「がっこうだいすき」

指導時数 1 3 時間

ねらい

- ・ 学校や友達、先生に親しみをもち、学校生活を楽しく過ごそうとする。
- ・ 学校の教室や施設・設備について、場所や使い方、役割を知る。
- ・ 自己紹介や遊び・ゲームを通して、友達と仲よくなる。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 友達とのかかわり方は、遊びを中心とした活動の中で、最初は1対1、次に2～3人の小集団、4～5人の集団というように、段階を追ってどうかかわればよいかを学んできている。また、入学前の幼児は遊びや行事の中で、友達と協力しながら共通の目的を達成するための活動も経験している。
- ・ 入学前に近くの小学校を訪問し、小学校の環境や児童に慣れるための交流活動を経験していることが多い。

接続をふまえた配慮点

- ・ 小学校入学時において、幼稚園・保育園・こども園で仲よしだった友達と別れたり、知っている友達が学級に2～3人しかいなかったりする場合がある。新しい環境や新しい友達に慣れないうちは、不安が大きくなるので、入学直後の活動では、小学校の環境と新しい友達や先生に早く慣れることをねらった活動を重視する。その際、幼児期に経験してきた「遊び」を通して、生活科を中心にしながら各教科等の活動を絡めながら、環境や友達に慣れる活動を設定していく。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 <u>小学校入門期に重視する3点</u> ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり
生活 1 2 日目			
1 / 3	1	<p>「がっこうだいすき」</p> <p>1 がっこうのことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「トイレをたんけんしよう」 ・ トイレの場所と使い方を知る ○ 教室から一番近いトイレの探検に行く。 ○ 場所を確認する。 ○ トイレの使い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレについては、児童の不安を取り除く意味でも、できるだけ早く場所と使い方を確認する。2日目の1校時に、あいさつや朝の支度と合わせて、15分間程度で行うとよい。 ○ 和式の便器を使ったことのない児童も多い

		<ul style="list-style-type: none"> ・ ノックの仕方 ・ 足を置く位置 ・ 水の流し方 ・ 汚したときの対処の仕方 ・ 手の洗い方 など <p>2 使う可能性の高い他のトイレの場所を確かめに行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 玄関の近くのトイレの場所を確かめる。(教室と玄関が違う階にある場合など) ・ 水飲み場の場所と使い方を知る 	<p>ので、特に和式の便器の使い方については、足の位置などを一人一人が実際に立ってみて確認するとい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水を流す際のレバー等の操作についても、足で踏むのか、手で押すのかなどの違いをはっきりと説明する。 <p>男子の小用トイレは幼稚園・保育園・こども園とは大きさが異なる場合が多いので、その違いに気付くようにし、できるだけ前に立つように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水飲み場の使い方を実際に手本を示して知らせるとよい。写真が掲示してある場所などもあるので活用し、みんなが気持ちよく使えるように使うことを指導する。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">生活4 3日目</div>			
<p>2 / 3</p>	<p>2</p>	<p>「がっこうだいすき」</p> <p>1 学校探検をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保健室、職員室の場所や役割を知る。 ○ 廊下・階段の歩行の仕方について確認する。 <p>2 保健室の探検に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健室の場所を確認し、養護教諭と仲よくなる ・ どういう場合に保健室でお世話になるのかを知る <p>3 職員室に探検に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員室の場所を確認する ・ 職員室の役割を知る ・ 職員室にいる先生と仲よくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ★1 入学後、しばらくは授業中に教室から他の場所へ移動する時の校舎内の歩行の仕方やきまりなどを、そのたびに確認するとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 保健室も、できるだけ早い時期に場所と役割を知っておいた方が望ましいので、入学後3～4日目に探検する。身体計測を保健室で行う学校の場合、その前日までには保健室の探検をしておくとい。 <ul style="list-style-type: none"> ★3 児童が養護教諭に早く慣れるために、養護教諭と事前に打合せをしておき、保健室の役割や使い方を、養護教諭から児童に話してもらえるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 休み時間などに担任に用事がある場合に備えて、職員室の場所もなるべく早く知らせておいた方がよい。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">生活5 6日目</div>			
<p>1 / 3</p>	<p>1</p>	<p>1 体育館を探検する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館へ探検に行く ・ どんな施設や道具があるのかを調べる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育館に探検に行き、どんなものがあるかを調べる。 ○ 「1年生を迎える会」の練習と連携して実施できるとよい。

1	3	<p style="text-align: center;">生活6 8日目</p> <p>「がっこうだいすき」</p> <p>1 校庭を探検して「春」を見つける。</p> <p>○ 校庭を探検して、校庭で「春」を見付け、学校への親しみの気持ちをもつ。</p> <p>2 校庭に出て、校庭にある遊具などを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 固定遊具の遊び方を確認する <p>3 校庭にある「春」を探す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植物 ・ 昆虫 ・ 小動物 など 	<p>○ 児童にとって自然な流れで校庭での春探しができるように、一日の中で次の流れができるように活動を設定するとより効果的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語 「なかよし」の春の風景 ・ 生活 「春をさがそう」など <p>○ 体育の「固定遊具の使い方を知る」と関連させるとよい。</p> <p>★3 春探しの活動のあと、校庭の固定遊具などを使ってみんなで遊ぶ活動を取り入れる。</p>
1	3	<p style="text-align: center;">生活7 9日目</p> <p>「がっこうだいすき」</p> <p>1 探検の計画を立てる。</p> <p>○ 校舎内の教室を探検する計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どこを探検するか ・ 何人で探検に行くか ・ 校舎内の教室の場所は分かるのか ・ 分からないことはどうしたらよいか ・ 見付けたことはどうするか ・ 校歌を教えてもらった2年生に聞いてみることはできるのではないか <p>2 探検の準備をすることにする。</p> <p>○ グループに分かれて探検の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「がっこうたんけんちゅうです。」のワッペンなど ・ 持っていく地図 ・ 地図やカードをはさむバインダーなど <p>○ 探検するマナーについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大声を出さない ・ 原則、教室には入らない ・ 廊下や階段は右側を歩く ・ トイレに行きたくなったら、みんなを外で待っている 	<p>○ 学校の状況により、2年生が1年生を連れて、校舎を案内したあとで、1年生がだけで探検する活動を計画している場合がある。初めは1年生から「学校の中を知りたい。」と意欲をもつことから始め、「2年生に聞きに行こう。」という展開にしてもよい。2年生との活動については、年間を通して、どこでどう連携していくかを定めておくことが大切になる。</p> <p>○ 探検の際の「わくわく感」「どきどき感」を大切に、主体的な取組として活動させていきたい。</p> <p>○ 特徴のあるいくつかの部屋の写真を大画面テレビなどで示しながら意欲付けをするとよい。</p> <p>○ 見付けた部屋の欄に○印をつけるたりシールを貼るなど、どの部屋を探検したかをチェックしやすいようにするとよい。部屋の簡単な地図を用意しておくともよい。</p> <p>○ 児童の話し合いの状況を含めて、協力してもらおう学年と連携をとるようにする。</p> <p>○ 生活班の友達とより仲よくなるために、生活班をそのまま探検隊にしてもよい。また、いろいろな友達と仲よくなることをねらって、学校探検用に特別な班を編成する方法もある。</p> <p>○ 前もって、学校探検の主旨と日時、探検の範囲などを学校の教職員に知らせて協力を仰ぐとともに、入室されては困る教室につ</p>

			いて確認をしておく。 ○ 入室時のあいさつの仕方についての指導は実施の際にも指導しておく。 ○ 教室名の表示板が漢字表記になっている場合、児童が読めるように、前もってひらがなの表記の紙を貼っておくとよい。 ○ 授業中に入ってもよい教室については、事前に児童に知らせて地図に印を付けておくなどするとよい。
--	--	--	--

生活	単元名 「みんなとなかよし」	指導時数 2 時間
----	----------------	-----------

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 <u>小学校入門期に重視する3点</u> ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 生活 2 2日目 </div>	
1	1	「みんなとなかよし」 1 自己紹介をする。 ○ 学級の友達の名前と顔を覚えるために、自己紹介をする。 ・ 自分の名前と出身園などを自己紹介する ・ 隣の席の児童の名前をお互いに覚える	○ 友達のことを知る手段の一つとして、一ヶ月くらいは朝の健康観察時に次のようなやりとりを工夫するのもよい。 T) 今日は好きな食べ物を教えてください。○○さん。 C) 「はい。元気です。わたしは、いちごが大好きです。」
	1	2 みんなで並んでみる。 ・ 名簿順の並び方をする ・ 教室のあいているスペースや廊下などで、背の順番などの並び方を行い、いろいろな友達とかかわる	★1 並び方にはいくつかの並び方があり、それぞれの場面に応じて、すばやく自分の位置に並べるようにする。
	1	3 みんなで知っている歌を歌う	☆ 「一年生になったら」などの友達に関する歌がよい。 ☆ 「さんぽ」などの入学前に歌った歌や「幼児と児童がともに歌える10の歌」から選ぶとよい。

		○ みんなで仲よくするぞという歌詞の歌を歌うことで、友達を増やそうとする意欲付けを図る。また、入学前に歌ったことのある歌を歌うことで、緊張感を解く効果がある。
	生活3 3日目	
1	<p>1 「みんなとなかよし」 1 いっしょに遊ぶ。</p> <p>○ 校庭の遊具で遊んだり、ゲームをしながら仲よく遊んだり友達と親しんだりする。</p> <p>○ 名前を呼ばれたら返事をして立つ。</p> <p>○ 返事をして黒板前に集まる。</p> <p>1 2 自己紹介ゲームの仕方を聞く。</p> <p>○ 「こんにちは」じゃんけんをして、勝った人から、 「私は〇〇です。」 「〇〇が好きです。」 「よろしくお願いします。」といきましょう。 握手をして、次の友達にいきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくりはじめていく <p>1 3 自己紹介ゲームをする。</p> <p>○ 終了後、繰り返して名前を言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「一人ずつ名前を言ってもらいましょう。その人とじゃんけんをした人は手を挙げましょう。」 <p>○ ゲームで楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハンカチおとし ・ 自己紹介ゲーム ・ フルーツバスケット 	<p>○ 遊びを通して友達の名前を覚えたり、仲よくなるきっかけを作ったりするように配慮する。</p> <p>★1 「名前を呼びます。呼ばれたら、「はい。」と返事をして立ちましょ。」「次に呼ばれた人はその前に来てすわりましょ。」と場所を指定する。2列目、3列目と呼ぶ。しっかりできている児童をほめる。</p> <p>★1 並び方の一つとして覚えておくように伝えるとよい。</p> <p>○ 一人児童を指名して教師と手本をやってみせると分かりやすい。始めは、隣の人とまねをさせるのもよい。</p> <p>○ 方法を説明する。競争ではないことを伝える。</p> <p>○ 教師も一緒に遊んだり、話をしたりしながら、児童と担任との良好な関係をつくることを心がける。</p> <p>★2 はっきりと名前を言うと名前をよく覚えやすいと伝えていく。</p> <p>○ 再度、名前を言わせ、じゃんけんをした人が手を挙げることで、親しみを増すようにする。</p> <p>評価) はっきりと名前が言え、友達の名前を覚えられた。</p>

音楽
単元名 「うたでなかよしになろう」 指導時数 4時間

ねらい

- ・ 音楽活動の楽しさに気付いて、進んで表現しようとする。
- ・ 友達と一緒に歌ったり身体表現をしたりする楽しさを感じ取ることができる。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 日常的に、みんなで一緒に歌を歌う機会がある。
- ・ 音楽やリズムに合わせて体を動かす経験をしている。
- ・ リズム楽器などを用いて、簡単な合奏を経験している。

幼児教育から小学校教育への接続をふまえた配慮点

- ・ 「幼児と児童がともに歌える10の歌」を参考にし、幼児期に親しんでいる歌を歌うことで安心感をもたせながら音楽の学習に慣れさせていく。
- ・ 幼児期に慣れ親しんでいる手遊び歌も取り入れた活動計画を工夫する。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 <u>小学校入門期に重視する3点</u> ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">音楽1 4日目</div>			
2 ／ 3	1	1 音楽の時間の約束を知る。 ○ 「楽しく歌ったり踊ったりしながら音楽の学習をしましょう。」 2 いくつか知っている歌を「幼児と児童がともに歌える10の歌」を参考に歌う。 ○ 教科書の絵をみて、絵の中から知っている歌があるか探して歌を歌う	○ 「幼児と児童がともに歌える10の歌」を参考に選曲する。 ★3 掲示用の歌詞カードを用意する
	1	「うたでなかよしになろう」 ○ 教科書の絵を見て、知っている歌を発表する。 「こんな歌知っているよ。」 「聞いたことあるよ。」 など自由に発表する。	☆ 「この歌知っているよ。」など意見を自由に発表させる。 ○ なるべくたくさん意見が出るようにする。みんなが知っている曲を歌いたいという気持ちを大切にしていける。

	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぞうさん」 ・ 「ちゅうりっぷ」 ・ 「ぞうさん」 ・ 「めだかのがっこう」 など <p>○ みんなが知っている歌を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 「どんな歌がかくれているのかな」と問いかけ、児童の知っている歌を引き出す。 ☆ 幼稚園・保育園・こども園では、保育者の歌に合わせて、歌いやすいところから、少しずつ一緒に歌って覚えていく。 ☆ 児童の意見を取り入れて選曲する。 ○ 児童の歌う様子から、1年生を迎える会で歌う歌を選曲するようにしていくとよい。
音楽2 5日目			
1 ／ 3	1	<p>「うたとともだち」</p> <p>3 手遊び歌を歌って遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知っている手遊びを言う ・ 知っている友達同士で実演してみる ・ みんなで歌って遊ぶ ・ 「おせんべやけたかな」 ・ 「おちゃらかほい」 ・ 「ひらいたひらいた」 など 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 幼稚園・保育園・こども園では、手遊び歌をよく活用している。児童が知っている手遊び歌を紹介し合うのもよい。 ○ 教科書に出ているわらべ歌などもよい。 ☆ 「幼児と児童がともに楽しめる10の手遊び」から選んでもよい。 ★3 教室やオープンスペースなど場の状況に応じて動きながらできるものは、大きな場所で行ってもよい。 ★2 歌詞に注目させて、どんな遊び方ができるかを考えさせるとよい。工夫させるポイントをつかめば自分なりの遊び方に発展させていくようになる。 ○ よい動きをしている児童に注目させ、具体的に工夫している点を明らかにしてほめてあげる。 <p>評価) 友達と一緒に歌ったりすることに進んで参加している。</p>
音楽3 5日目			
1	3	<p>「校歌をうたおう」</p> <p>1 前時に歌ったみんなが知っている歌を歌う。</p> <p>2 校歌を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生が歌う校歌を聴く ・ 歌えるところを一緒に歌う <p>「うたとともだち」</p> <p>○ 手遊び歌を歌って2年生と一緒に遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知っている手遊びを言う ・ 知っている友達同士で実演してみる ・ みんなで歌って遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ★3 掲示用の歌詞カードを用意する。 ★3 生活科の「がっこうたんけん」で、音楽室（又は2年生の教室）へ行き、そこで校歌を聞かせてもらおうとよい。 ○ 自分たちで歌えるように練習しようと思意欲をもたせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 幼稚園・保育園・こども園では、手遊び歌をよく活用している。児童が知っている手遊び歌を紹介し合うのもよい。 ○ 教科書に出ているわらべ歌などもよい。 ☆ 「幼児と児童がともに楽しめる10の手遊び」から選んでもよい。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おせんべやけたかな」 ・ 「おちゃらかほい」 など 	<p>★3 2年生の教室やオープンスペースなど場の状況に応じて動きながらできるものは、大きな場所で行ってもよい。</p> <p>○ 2年生の担任と打合せをしておく。このあとの生活科の「がっこうたんけん」の前段階としての2年生との関係づくりにしていくとよい。</p> <p>評価) 友達と一緒に歌ったりすることに進んで参加している。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">音楽4 6日目</div>			
2 / 3	2	<p>「一年生を迎える会でうたうたをうたおう」</p> <p>1 「1年生を迎える会」で歌う歌を大きな声で歌う。</p> <p>○ 「1年生を迎える会」があることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「1年生を迎えてくれる2～6年生のみんなにお礼の歌を歌いましょう。」 ・ 歌う歌を決める ・ 歌の練習をする 	<p>○ 「1年生を迎える会」の様子について説明をして意欲をもたせる。</p> <p>○ 児童の歌う様子から、1年生を迎える会で歌う候補の歌を選曲しておき、児童の意見を聞くようにするとよい。</p> <p>○ 掲示用の歌詞カードをいくつか用意しておく。</p> <p>評価) 声をそろえて歌うという意識をもつようにする。</p> <p>○ 伴奏をよく聞いて歌う習慣を育てる。</p> <p>○ 歌詞を見ながら歌うことから、次第に歌詞を見ないで歌えるようにしていく。</p> <p>★3 「1年生を迎える会」の並び方の練習を行って歌う。</p> <p>★1 練習のときからすばやく並ぶことや歌っているときの態度について指導をする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">音楽5 7日目</div>			
1 / 3	1	<p>○ 校歌を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱に合わせて歌う 	<p>★3 掲示用の歌詞を用意する。</p> <p>○ 入門期の範唱の聴き方は、前時のような順番を追って行くとよい。</p> <p>○ 難しい歌詞の部分は、簡単に説明を加えるとよい。学校の歴史や地域の方々の思いなどにも触れて、愛校心が芽生えるようにしていくとよい。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">音楽6 8日目</div>			
1	1	<p>「うたでともだちになろう」</p> <p>1 手遊び歌を歌って遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知っている手遊びを言う ・ 知っている友達同士で実演してみる ・ みんなで歌って遊ぶ 	<p>○ 音楽の授業の導入として「手遊び歌」を活用するのもよい。</p> <p>★3 教室やオープンスペースなど場の状況に応じて動きながらできるものは、大きな場所で行ってもよい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「おせんべやけたかな」 ・「おちゃらかほい」など 	
1	<p>「みんなであるこう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「さんぽ」の歌を知り、歌いながら手を打つ。 ・ 範唱に合わせて、2小節ずつ歌う ・ 教師の演示を見て打ち方を覚える ・ 伴奏に合わせて、拍の流れにのって歌いながら手を打つ ・ 速さを変えて楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 幼稚園・保育園・こども園では、保育者の歌に合わせて、歌いやすいところから、少しずつ一緒に歌って覚えていく。 ○ 入門期の範唱の聴き方は、次のような順番を追って行うとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の歌詞の朗読を聴く ・ 朗読のまねをする ・ 歌う順序を知る ・ 教師の範唱を聴く（このとき、音の高さに合わせて簡単なハンドサイン的な身振りをつけると効果的） ・ 歌い方についての質問をする ・ ひとふしずつ聴唱する ○ 音楽より、体を動かすことに夢中になってしまう場合は、「音楽をよく聴いてごらん。」と声をかけるようにする。 ○ 伴奏をよく聞いて歌う習慣を育てる ○ 拍の流れにのってリズムカルに歩いている友達の動きを参考にするように促す。 <p>★3 教室で行う場合には、机を移動させて、スペースを作ってから行うとよい。オープンスペースなどがある場合は活用するとよい。</p> <p>評価) 歌に合わせて、友達と楽しく歩いている。自由な雰囲気の中で、いろいろな表情で歌ったり体を動かしたりしながら歌ったりする</p>
1	<p>3 歌に合わせて遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「さんぽ」の歌を歌いながら歩く。伴奏に合わせて、手を打って、拍の流れにのって歌いながら歩く ・ 速さを変えて楽しむ ・ 「足踏みをしよう。」 ・ 「橋を渡ってみよう。」 	

図画工作科

単元名 「へんしん ねんど」 指導時数 2時間

ねらい

- ・粘土を伸ばす、丸める、並べる、積むなど手や体全体を働かせてつくる
- ・積み上げた粘土から頭・手・足などを引き出して自分の想像する動物をつくる。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・粘土遊びは、幼稚園・保育園・こども園でも経験してきている。好きなものをつくったり、型押しをしたり、課題に合わせてつくったりして、親しんでいる素材である。

接続をふまえた配慮点

- ・粘土遊びの基本的な技能（伸ばす、丸める、付ける、引き出す）を遊びながら、自然に身に付けることができるようにした。周りの友達と比べ合ったり、見せ合ったりすることで友達とのかかわりが自然に生まれていくようにした。

*「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<p>○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 <u>小学校入門期に重視する3点</u> ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 図画工作1 6日目 </div>			
1	1	<p>「ねんどであそぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道具や材料を用意する。 1 粘土を伸ばす ○ 新しい粘土を全身を使って押しやり、こねたりしながら伸ばす。 ○ 近くの友達と長さ比べをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 粘土の感触の心地よさを味わう ・ 「粘土って、しっとりひんやり気持ちがいい。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道具や材料の置き方や記名の確認など、学習前の準備を指導する。「図工服」などがある場合には、着替えてから道具を用意する。 ☆ 粘土は扱いやすいように、卵大の大きさに取り分けてからつくり始めるなどの配慮をするとよい。 ★ 3 「長く伸ばす競争をすること」を伝え、終わりの時刻を時計の針の位置で知らせておくことよい。 ○ 伸ばす、丸める、引き出す、つけるなどの粘土の基本的な扱いに慣れる。 ☆ これまでの体験を思い起こさせ、力を入れるには、立って、体重を乗せながら、伸ばす方がよいことを気付かせる。 ○ グループの友達や近くの友達と長さ比べをしたり、机の長さなどと比べたりさせるのもよい。 ★ 2 「ころころ」「こねこね」「まだ、かたい」「ぐにゃぐにゃする」など、手触りを言葉で表現するように教師から問いかけていく。
	1	<p>2 粘土を丸める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長い粘土をちぎって、丸めて、おいしそうなお団子をたくさんつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「机のうえで手のひらを回しながらつくと丸くなるよ。」など言葉で表現をする。 ・ きれいな丸でおいしそうなお団子、数、並べ方のよさなどを近くの友達と比べる。 ・ 「くるくる丸めておだんご出来上がり。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでに団子などを作った経験を想起させ、どのようにするときれいに丸められるか意見を出させるとよい。 ○ 終わりの時刻を伝える。 ★ 2 「ころころ」「こねこね」「まだ、かたい」「ぐにゃぐにゃする」など、手触りを言葉で表現するように教師から問いかけていく。 ○ 丸め方がうまくできない児童には個別指導する。きれいさやたくさん作っていること、並べ方の工夫をほめる。 ★ 3 丸めるコツを言葉で表現させてみるとよい。 ○ 丸の形や数を友達と比べる。自分たちでできる比べ方でよい。数を数えることを強制しな

	<p>3 粘土を積み上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 丸めた粘土をできるだけ高く、倒れないように積み上げる 近くの友達と高さ比べをする <p>1 4 粘土で動物を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 積み上げた粘土を押してかたまりにした後、頭、手、足、耳、角、しっぽなどつまんだり、引っ張り出したりして、自由に動物をつくる。 丸めたり伸ばしたりした体験から作りたい動物を考える。 <ul style="list-style-type: none"> うさぎ、かめ、ねこ、いぬ、ぞう、わになど 作ったお団子やひもを工夫してつなげて動物を作る。 できた動物を隣同士で鑑賞し合う。 	<p>いでよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 終わりの時間を伝える。 崩れてしまう児童には、高く積み上げている児童の工夫を見付けさせる。 積み上げた高さを比べさせる。自分たちで、できる比べ方をさせる。 つまみ出しや引っ張り出しの方法を指導する。幼稚園・保育園・こども園では、付けたしながら作ることが多く、引っ張り出しの技法はあまり経験がない。 図工の授業では、つぎの4点を大切にしていきたい。 <ol style="list-style-type: none"> 楽しさや心地よさを味わう。 試したり見つけたりする。 色や形、方法や材料について知る。 力を合わせて展示したり、発表したりする。 ★ 3 作品は粘土板に載せ、名札をつけて教室に飾る。こわさないで鑑賞するよう指導する。 <p>評価) 粘土の心地よさを味わい、粘土で表現することを楽しむ。伸ばす、丸める、引き出す、つけるなどの粘土の基本的な扱いに慣れる。楽しく動物作りができた。</p>
--	--	---

図画工作科

単元名 「シャボンだま とんだよ」 指導時数 2時間

ねらい

- はさみの安全な使い方に気を付け、それを守る。
- 紙を曲線に沿って回して切り、丸い形に変わることを楽しむ。
- 好きな色のパスを選んで、自分のイメージしたシャボン玉を作る。

接続をふまえた配慮点

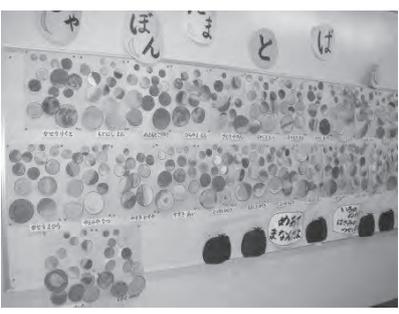
- はさみの危険性を表示し再確認する。
 - 使わないときは必ず道具箱にしまう。
 - 人に渡すときは柄のほうを向けて差し出す。
 - 使用中は刃を閉じておく。
- シャボン玉遊びの経験から作品を作る意欲へとつなげていく。
- 重ねて色をぬることで色に深みが出てくる。混ざった色の美しさやおもしろさに気付き、シャボン玉の色ぬりに意欲的に取り組める。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ はさみの持ち方やはさみの危険性、安全な扱い方など、幼稚園・保育園・こども園ではさみを使う経験をする中で、繰り返し伝えられているので、理解できるようになっている。
- ・ はさみの使い始めの頃は、一度で切り落とせる経験をする事が多い。年長児になると、線上を切ることや続けて切ることができるようになってくる。
- ・ 絵を描くときに、パスを用いて好きな絵を描く経験はほとんどの児童がしている。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<p>○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 小学校入門期に重視する3点 ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり</p>
1	1	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">図画工作2 10日目</p> <p>「シャボンだま とんだよ」 ○ 道具や材料を用意する。 1 シャボン玉遊びをしたときのことについて話し合う。 ・ 「まんまるになった。」 ・ 「遠くへ飛んでいった。」 ・ 「いろいろな大きさになっていった。」 ・ 「虹みたいな色だった。」</p> <p>2 自分の考えたシャボン玉の飛んでいる様子を思い浮かべながら、台紙にパスで色を塗り重ねる。 ・ 好きな色でしっかりと塗る ・ はみださないように塗る ・ 色の重なりを考えて塗る ・ 重なってできた色を楽しむ</p> <p>3 色を塗ったシャボン玉のまわりの線を残して丸く切り取る。</p>	<p>○ 道具や材料の置き方や記名の確認など、学習前の準備を指導する。「図工服」などがある場合には、着替えてから道具を用意する。 ★ 3 新聞紙などを机に敷いてから活動を始めると片付けしやすくなる。机の上の用具の配置図などを作り、黒板に掲示するとよい。 ☆ シャボン玉を実際に飛ばして見せることもよい。 ★ 2 国語科や生活科の学習と関連させて活動を広げ、友達や学校、自然と触れ合う活動を充実できるようにする。これまでの経験で気が付いた「シャボン玉」について、意見を出すようにする。</p> <p>☆ 児童が使い慣れたパスを用いることで、抵抗なく学習活動に入れるようにする。 ☆ 「まちがえても色を塗り重ねられるから大丈夫。」と安心感をもたせるようする。</p> <p>○ 白画用紙に大・中・小の3種類の大さの円を描いた台紙を用意しておき、色ぬりや切り取りの活動を進めやすくする。 ○ 終わりの時間を伝える。 ○ はみ出さないように、周りから塗る方法やぐるぐると円をかくように塗っていく方法など工夫している児童の様子を取り上げる。 ○ 台紙を回して切ると切りやすいことに気付いている児童を取り上げる。</p>

	<p>4 シャボン玉が飛んでいくように台紙に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きいシャボン玉は台紙を切り取った残りの細長い紙を丸めてのりで貼って輪にして台紙とシャボン玉の間にに入れて、シャボン玉を台紙から浮き上がらせて貼る ・ 小さいシャボン玉は直接台紙に貼ってシャボン玉が飛んでいく様子を自由に表現する <p>5 できた作品を友達に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ できた作品を近くの友達と鑑賞する ・ どんなふうにはシャボン玉が飛んでいく様子なのかを近くの友達に伝え合う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台紙にする画用紙は水色を2、3種類用意しておいて児童が選べるようにするとよい。 ○ 「小さいシャボン玉は遠くに飛んでいったシャボン玉だね。」と上下の位置や台紙との間に輪を入れて高さを変えるなど児童に工夫をさせて貼っていくようにする。 ○ 図工の授業では、つぎの4点を大切にしていきたい。 <ol style="list-style-type: none"> 1 楽しさや心地よさを味わう。 2 試したり見つけたりする。 3 色や形、方法や材料について知る。 4 力を合わせて展示したり、発表したりする。 <p>★3 作品は、名札をつけて教室に飾る。「春」の場面を想像しながら鑑賞するよう指導する。</p> <p>評価) パスで色をぬり重ねる心地よさを味わい、貼る位置を工夫して「シャボン玉 とんだ」を表現することを楽しむ。友達と意見を交わしながら「シャボン玉」の様子を思い浮かべて楽しく作品ができたか。</p>
	 <p>作品掲示にも配慮しましょう</p>	

体育

単元名 「固定遊具で遊ぼう」

指導時数 3 時間

ねらい

- ・ いろいろな並び方が分かり、すばやく、順序よく並ぶ。
- ・ 固定施設の使い方が分かり、工夫しながら遊ぶ。
- ・ 鬼遊びなどの集団遊びのきまりをつくり、楽しく遊ぶ

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 安全で正しい固定遊具の使い方を知り、日常的に遊んでいる。
- ・ 順番に一人で並んで待つ経験をしている。
- ・ 数種類の鬼ごっこで遊んだ経験をしている児童が多い。

接続をふまえた配慮点

- ・ 固定遊具や鬼遊びをほとんどの児童が幼児期に経験している。しかし、園ごとに遊び方やルールが少しずつ違うので、児童から知っているルールを出させ、調整しながら、自分たちで決めたルールの下で遊びが展開できるように配慮する。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<p>○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連</p> <p><u>小学校入門期に重視する3点</u></p> <p>★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり</p>
1	1	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 体育1 4日目 </div> <p>「たいいくのよういをしよう」</p> <p>1 体育の用意をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育着に着替える ・ 持ち物の点検をする ・ 次第に休み時間に行うようにする <p>1 2 並びっこごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室で並んでいる順に2列で並ぶ ・ 号令「前へならえ」「休め」を確認する ・ 体育の座り方を確認する ・ 両膝を軽く抱え込み、背筋を伸ばして話す人の方を見る <p>○ 簡単な体ほぐしの運動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふうせんつき ・ 2人でぼーとこぎ ・ なべなべそこぬけ ・ からだでじゃんけん など <p>1 3 固定施設の使い方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 固定遊具、全てを回り、一つ一つ使い方や気を付けることを確認する 	<p>○ 身体計測と同じ日に学習があると着替えが一度で済む。また、別の日であっても、着替えの練習として扱える。どちらの場合も、時間を確保して指導する。</p> <p>○ 赤白帽子をかぶる。ハンカチを持っているか確認する。</p> <p>☆ 4・5歳児でも、言葉で説明するだけで、整列する経験をしている。</p> <p>☆ 幼稚園・保育園・こども園では、早いもの順で並んで後から来る子供を待つという方法をとることも多い。</p> <p>○ 号令は予令と動令の2つに分けてかける。「前へ（予令）ーならえ（動令）」予令と動令との間に2～3拍おき、児童に次の準備をさせる。</p> <p>☆ 児童がこれまでに体験している体ほぐしの運動を取り入れるのもよい。</p> <p>○ 固定施設の安全管理について、複数の指導者で実際に確認をしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄棒などのボルトの緩みや腐食 ・ 砂場の衛生状況、保護シート ・ 一輪車や竹馬のスタンドの腐食など <p>○ 幼児期に遊んだ経験のある固定遊具の使い方を想起させ、遊び方のルールを確認し、遊</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジャングルジムで遊んでみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな遊びができるか、みんなで話し合いながらいろいろな動きに挑戦させる ・ 中や外を向いて、一回りする ・ 体を外に出して手を振る ・ 登る、くぐる、渡る、ぶらさがる、おりる、よこあるき、まえまわり、こうもり、とびおりなど ○ 両足と腰で体を支えて大きく伸びをする。 	<p>び方の相違点を確認できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 使うときは、順番を守ること、待つときは安全に気を付けることを確認する。 ○ 生活科の「がっこうたんけん」と連携して取り扱うとよい。 ○ ジャングルジムは、うんていや登り棒に比べると比較的簡単に楽しむことができる。しかし、体が地面から離れ、高い所に登ることに対して恐怖心をもつ児童もいる。教員がそばについて、励ましの言葉をかけ、安心して遊べるようにすることが大切になる。
1	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 体育2 7日目 </div> <ul style="list-style-type: none"> 1 1 並びっこをする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時で学んだことを確認する。 ○ 簡単な体ほぐしの運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなででんしゃごっこ ・ いもむしごろごろ など 1 2 ジャングルジムやうんていでいろいろな遊びをする。 <p>【うんていの遊び 例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ずつわたる ・ 1 つぬかしでわたる ・ うしろむきでわたる ・ よこをもってふちをつたう ・ 体を手で振ってみる ・ 10回体を振る ・ 二人組で足じゃんけんをする 1 3 鬼遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人鬼、二人鬼や手つなぎ鬼などをする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ うんていはある程度の握力と筋力が必要となる。ぶら下がったままの児童もいる。その場合はぶら下がって体を振ったり、足を開いたり閉じたりするなどの動きに取り組むようにする。 <p>☆ 児童がルールを簡単に理解できるものを選ぶようにする。幼稚園・保育園・こども園でもたくさん鬼ごっこを経験しているので、児童の知っている鬼ごっこをする。こおり鬼、かげふみ鬼など。</p> <p>評価) いろいろな遊びができたか。友達と仲よく遊べたか。動きを工夫できたか。</p>
1	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 体育3 9日目 </div> <p>「みんなであそぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 並びっこをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で学んだことを確認する ・ 教室で座っている順にミニグループを作り、並ばせる方法もある 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身体計測が済めば、背の順並びで整列する指導もできる。まず名簿順の並び方に慣れるなど、児童に合わせて指導する。 ○ 校庭で集合する場所にコーンを置いて目印とするなどもよい。1年間を通して同じ場所

	<p>1 2 ジャングルジムやうんてい、登り棒でいろいろな遊びをする。</p> <p>【登り棒遊び 例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はだしで登る ・ 手だけで登る ・ 登る、とまる、おりる ・ つかまって10数える ・ 2本の棒を使って登る ・ 2本の棒を使ってさかかまになる ・ 棒から棒への移動 <p>1 3 鬼遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人鬼や二人鬼、手つなぎ鬼、高鬼などで遊ぶ 	<p>に集合するようにして、体育の席として定着させるとよい。</p> <p>★1 集合するときのサインを決めておくとよい。教師が「ピー。」と笛を吹き、指で2列、4列などサインを出し、児童が集まるのを待つ。朝会や遠足などでも使えるサインにするとよい。リズム太鼓などを使ってもよい。</p> <p>○ 教師が立つ位置をきめる。「背にしてはいけない」太陽、風、気をひくもの、子供の4つに留意して集合する向きを考えるとよい。「集合ゲーム」などとして、すばやく集合できるように練習するとよい。</p> <p>○ 登り棒は、手と足を使って遊ぶので、うんていと同じように、握力筋力、手と足のバランスのとれた動きを必要とする。上に登れない児童は、教員や友達の補助が大切になる。</p> <p>☆ 児童がルールを簡単に理解できるものを選ぶようにする。児童の様子や人数によってもかかる時間が違うので、それを考慮して何を選ぶか考える。</p> <p>☆ 鬼ごっこの他に、「ドンじゃんけん」などをしても楽しい。出身の園ごとに遊び方やルールが少しずつ違うので、児童から知っているルールを出させ、調整しながら、自分たちで決めたルールの下で遊びが展開できるように配慮する。</p> <p>評価) いろいろな遊びができたか。友達と仲よく遊べたか。動きを工夫できたか。</p>
--	---	---

道徳

単元名 「気持ちのよいあいさつ」 指導時数 1時間

ねらい

- ・ 日常生活におけるあいさつの大切さを知り、気持ちのよいあいさつを心がけようとする態度を養う。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 朝や帰りのあいさつ、食事のときのあいさつはもちろん、「ありがとう。」や「ごめんなさい。」などとも言えるように働きかけられている。
- ・ 「ありがとう。」は、言えたときにほめることによって言えることが増えてくるが、「ごめんなさい。」は、難しい。気持ちを大切に、「相手はどんな気持ちかな？」「なんて言えばいいのかな？」などと話し、「ごめんなさい。」が言えるように導かれてきた。
- ・ 人とかかわる上で、必要な言葉を遊びの中で使えるように、いろいろな場面を意図的に設定して、自分から言えるように導かれている。

幼児教育から小学校教育への接続をふまえた配慮点

- ・ 幼稚園・保育園・こども園でやってきたことを振り返り、小学校でも同じことをすればよいことを知らせて安心感をもたせる。その上で、1年生になったからもう少ししっかりやりたいという思いを引き出していく。
- ・ どんな場面でどんなふうに言えばよいか、絵で示すと集中させやすい。
- ・ 新しい友達と仲よくするために、「いれて。」や「いいよ。」などの言葉も気持ちよく言えることの大切さを押さえる。

* 「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<p>○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連</p> <p><u>小学校入門期に重視する3点</u></p> <p>★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり</p>
1	3	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">道徳1 5日目</p> <p>1 あいさつをしたときの体験について話し合う。 ○ 今朝、どこで、だれに、なんて言ってあいさつをしましたか。 ・ 「おはようございます。」 ○ 知っているあいさつを発表する。 ・ いきます ・ いただきます</p> <p>2 資料の絵を見て話し合う。 ○ 絵のなかからどんな、あいさつが聞こえてきますか。 ・ ごちそうさまでした ・おはようございます ・こんにちは ・ありがとう ・ごめんなさい ・さようなら ・ただいま ・おやすみなさい</p> <p>3 実際にあいさつをして、気持ちを考える。</p>	<p>☆ おはよう、さようならなど、基本的なあいさつを思い出すようにする。</p> <p>★3 資料は拡大したり、ペープサートにしたりして、動かして、一つずつ状況を説明していくと分かりやすい。 ○ 「おはようございます。」「ありがとう。」「ごめんなね。」などは、人とかかわるのに大事な言葉であることを押える。</p> <p>★3 動作化を取り入れて何人かの児童が役割演技をすると気持ちを考えやすい。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつをすると、どんな気持ちになるでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おはようございます。」を言う場面 ・ 「ありがとう。」を言う場面 ・ 「ごめんね。」を言う場面 ○ 一緒に遊びたいとき、どうすればよいかを考えてみましょう。 4 もう一度あいさつの場面を設定して、動作化する。 ○ 朝、友達と会ったときのあいさつをみんなでしてみましょう。 ○ 「こころのノート」を見て、自分ならどうあいさつするか、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「〇〇ちゃんのあいさつは、ここにこしていて、気持ちよかったね。」というように発表を活かす。 ○ あいさつには気持ちが伴うことを感じさせる。 ○ 資料の例以外にも、友達と一緒に遊びたいときに、「入れて。」「いいよ。」など、人とかかわっていくのに必要な言葉も付け加える。 ○ 児童の実態に応じて、どの場面を取り上げるか考える。 評価) しっかりしたあいさつをすると、相手も自分も気持ちがよいことに気付き、実践することのよさについて考えたか。 ○ 発表したことを日常生活で実践するように促す。
--	--	--

道徳

単元名 「みんなで、まもろう」 指導時数 1 時間

ねらい

- ・ きまりを守り、安全な生活を送れるようにしようとする心情を高める。

幼稚園・保育園・こども園で経験してきたこと

- ・ 入園してまもなくから、幼稚園・保育園・こども園にも様々なきまりや約束があり、それらに気付くような指導が行われている。
- ・ きまりや約束をどうして守る必要があるのか考えられるようにし、それらを守ろうとする意識を育てている。
- ・ 我慢したり、気持ちを切り替えたり、相手を思いやったり、ルールを守る気持ちよさを感じさせたりして、人の気持ちを察することやきまりを守ることの大切さを育んでいる。

幼児教育から小学校教育への接続をふまえた配慮点

- ・ 幼稚園・保育園・こども園でやってきたことを振り返り、小学校でも同じようにすればよいことを知らせて安心感をもたせる。
- ・ 集団生活を送るうえで、きまりを尊重することは、基本的な生活習慣に属するものである。低学年の学校生活においては、時刻や時間の意識を強くもてるようにすることが大切になる。自分の生活だけでなく、人に迷惑をかける場合が多くなることについて触れて考えさせていくことが効果的になる。
- ・ 言葉だけでなく、実際にやってみることによって理解が深まる。
- ・ 小学校生活 6 年間の始まり。最初が肝心であるので、一つ一つ丁寧に押さえていく。
- ・ 日常生活の中でも、繰り返しどうしなければならないのかを考える場面を設定していく。

*「コマ」は15分間

時間	コマ	学習活動	<p>○：指導者の配慮事項 ☆：幼児教育との関連 <u>小学校入門期に重視する3点</u> ★1 学習習慣・生活習慣を組み込んだ学習 ★2 見る、聞く、話す力の育成 ★3 柔軟性のある環境づくり</p>
1	3	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">道徳2 10日目</p> <p>1 資料をみて、休み時間にいろいろなことをしている子どもがいることを話し合う。</p> <p>○ 休み時間にはどんなことをしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボールで遊んでいる ・ ハムスターを見ている ・ 池の中を見ている ・ 登り棒をしている <p>○ 先生が、「勉強が始まります。」と言っているのを聞いたとき、みんなはどんなことを考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっと見ていたい ・ もう少し遊んでいたい ・ 勉強が始まるから教室へもどろう ・ もう行かないといけな <p>2 自分の生活の中で、時刻を守ってよかったことと守らなくて悪かったことを考える。</p> <p>○ 時間を守ってよかったなということはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝、起きられてほめられた ・ 帰る時間を守らなくて怒られた <p>3 学校にはどんなきまりがあるか考える。</p> <p>○ 学校にはどんなきまりがあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道、ボール、傘立てなどの使い方を確かめ、きまりがなかったらどうなるか考える <p>○ 学校の中、校庭など自分の学校のきまりを守っていくことについて教師の説話を聞く。</p>	<p>★3 資料の絵は拡大し、一つずつ発言とあわせて状況を説明していくと分かりやすい。</p> <p>○ 絵の中の子どもの気持ちを考えることができるようにする。</p> <p>○ まだ、遊んでいたい気持ちがあることを抑える。</p> <p>○ それぞれの子どもが気持ちがあるなかで、時刻を守ろうとすることについて考えるようにする。</p> <p>評価) 自分の生活を振り返ることで、決められた時刻を守ることの大切さや、時刻を守ろうとすることのよさについて考えたか</p> <p>○ 学校生活におけるきまりを確認する。</p> <p>○ 具体的には「生活科」の「がっこうたんけん」で確認していくとよい。</p> <p>○ 学校できまりが守れずに失敗した体験を話す方法もある。</p>

平成23年度～26年度台東区立小学校使用教科書

国語	東京書籍	算数	東京書籍	図画工作	開隆堂出版
書写	東京書籍	理科	東京書籍	家庭	東京書籍
社会	東京書籍	生活	東京書籍	体育(保健)	学研教育みらい
地図	帝国書院	音楽	教育芸術社		

